

今月は久々の「夢幻の道を追う」を書きました。このシリーズの言い出しっぺ(?)のはずなんですが、「中央自動車道」以来2年ぶりくらいでしょうか。しかも、「ゆめまぼろし」の具合が前とはちょっと別方向です。前は「実現しなかった空論」でしたが、今回は「確かにあったモノ」だけど、おおよそ現存していそうもない存在」という意味で、この企画にしました(その意味は来月号で明らかになります...)。未成ネタじゃないのに現地レポが無いのかというお叱りもありそうですが、このネタのメインはあくまで机上調査ですので、明治の長大隧道をあれこれ想像して貰えたら嬉しいです。(あと、資料を譲って下さったnagajisさん、本当にありがとうございました!)(ヨ)

「その橋を作ったのは私の伯父です。棟梁をしてました」

とのメールを突然いただき、

「つきましてはお暇な時にでも調べて欲しいことがあるんですが・・・」とあった。

なんだか意味もなくテンションが上がってしまい、2日後には現地に行ってしまった。

結局、依頼された調査は空振り、変化も新しい発見もなかったけれど、楽しかったなあ。(ツ)

G.W.中は皆様にいろいろな所へ連れて行っていただきました。もう足の不安はない! と言いたい所なのですが、未だに完治してないようで、翌日には歩くのが困難なほど痛くなってしまいます。どうにかならんもんかいな...と自分でも呆れています。このポンコツめ。

行かねばネタがないし、近遺調の件も進まない、何とかしたいところなのですが。無理にでも歩いて筋肉をつけることが先なのかも知れません。(な)

BEAR TYRE